区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（2月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

政策葛飾

児童相談所設置の早急な実現と水辺空間の積極的な活用を

児童相談所設置に向けての区の考えと取り組み

問 本区の児童相談所の設置は、都からの移管を基本とするのか、児童福祉法の改正を踏まえた独自設置とするのか、区の設置方針を伺う。

答 本区を所管する足立児童相談所が対応するケースを的確に引き継ぐとともに、ノウハウを習得するための派遣研修を拡充するなど、都のノウハウを継承するため取り組む。

問 一時保護所は独自設置か共同設置か。また他の一時保護所との連携をどのように考えるのか、区の見解を伺う。

答 児童相談所に一時保護所の設置が必要で、本区も独自に設置を予定している。ただし、同一場所への保護が適当でない場合などは、他区の一時保護所の相互利用なども検討する。

※他の質問項目　児童相談所や一時保護所の整備工程　など

災害・危機管理対応に係る財政対策

問 品川区は災害復旧のための基金と特別会計を設置するが、本区では大規模な危機事象全般に対象を広げて基金積立を行い、対応経費を特別会計で経理する仕組みを創設すべきと考えるがどうか。

答 災害発生時は、予備費の充用や予算流用などにより財源を確保した上で、経理を明確にするよう災害対策経費での執行を想定している。災害・危機管理等の対応は、より迅速な方法を研究する。

※他の質問項目　東日本大震災への対応に本区が要した経費の総額　など

河川空間のオープン化

問 中川テラスについて、水辺空間のオープン化を進めることで、新たな名所となりえると思うがどうか。

答 展望デッキが整備され、ビュースポットとなっている。今後はオープン化を進め、名所として発信をする。

問 河川敷地占用許可準則を活用し、運営協議会を立ち上げ、運営・管理を進めるべきと思うがどうか。

隅田公園オープンカフェ

答 今後の中川テラス整備の進捗状況にあわせ、河川管理者や周辺地域と協議会設置を検討する。

※他の質問項目　水辺空間を活用した災害対応における協働　など

自由民主党議員団

こち亀を活用したまちの活性化 東京2020へ綺麗なまちを

観光施策

問 40年間続いた漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、通称「こち亀」の連載が終了した。今後どのように活用していくのか区の考えを伺う。

答 こち亀は本区ゆかりのキャラクターとして観光施策推進に重要な役割を担っている。さまざまな形でこち亀を活用した事業を実施しており、今後も亀有地域の活性化に取り組み、こち亀を活かした観光事業を進める。

※他の質問項目　回遊性のある事業展開　など

木造密集地域のまちづくり

問 不燃化特区に指定された木造密集地域の新耐震基準による建築物助成制度を創設し、不燃領域率の一層の向上を図るべきと考えるがどうか。

答 既存の建て替え助成の適用がない新耐震基準による防火構造住宅への助成制度の創設を検討し、不燃化特区内の不燃領域率の向上を加速させる。

※他の質問項目　指定外の木造密集地域への耐震助成制度の拡充　など

地域の安全対策としての防犯カメラの設置

問 通学路の危険箇所などへの防犯カメラの設置について、区の考えを伺う。

答 地域や学校などによる見守り活動を補完し、子供への犯罪抑止を強化するため、都の補助金制度を活用し通学路に防犯カメラの設置を進める。

※他の質問項目　公共施設への設置　など

まちを綺麗にしていくための環境施策

問 公共空間を美しくするため、花いっぱいのまちづくりを担う団体への支援を充実させてはどうか。

答 区専用ホームページなどで団体の活動内容を紹介するとともに、花の種などの緑化材料の無償配布をしてきた。また、かつしか花いっぱいの花壇コンクールを実施し、花いっぱいのまちづくりを広くPRしており、今後も充実・発展するよう取り組む。

※他の質問項目　ごみ屋敷　など

まちの美化

問 オリンピック・パラリンピックを見据え、道路や公園での喫煙を禁止すべきと思うが、区の考えを伺う。

答 23区中19区がエリア指定などの形で路上喫煙を禁止している。東京全体で清潔なまちを構築できるよう、道路や公園で喫煙を禁止する条例改正を進める。

※他の質問項目　喫煙者や関係事業者の理解と協力を得る取り組み　など

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての取り組み

問 障害者のスポーツへの参加意欲を盛り上げ、継続してスポーツに取り組むことができるきっかけづくりなどが重要だが、区の取り組みを伺う。

答 夏の水泳教室やボッチャを取り入れたスポーツ教室など、障害者やその保護者とともにスポーツを通した健康づくりに取り組んだ。今後は障害のある方とない方が一緒にスポーツに参加できる環境づくりに取り組む。

※他の質問項目　体育施設における障害者対応　など

よつぎ療育園

障害者の通所施設

問 よつぎ療育園とウェルピアかつしか以外に、医療ケアを必要とする障害者の通所施設を区内に整備する必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 よつぎ療育園とウェルピアかつしかの受け入れは限界に近づきつつある。通所施設の整備については来年度葛飾区障害者施策推進計画などを策定するに当たって設置する計画（案）策定委員会の場において検討する。

※他の質問項目　特別支援学校高等部卒業生の卒後対策　など

聴覚障害者の意思疎通支援

問 コミュニケーションを支援する手話通訳者の確保の取り組みを伺う。

答 本区が実施する手話通訳者を養成する手話講習会に、聴覚障害者を研修助手として配置した。手話講習会の内容を充実させて、手話通訳者を安定的に確保していく。

※他の質問項目　集団補聴システム貸し出し拡大のための情報提供

教育

問 他自治体から高い評価を受ける若手教員の育成体制の維持について伺う。

答 今後若手育成体制の充実に向けて、若手教員を指導する教育経験豊かな元教員を区の非常勤教員として採用し、充実していく。

※他の質問項目　「特別の教科　道徳」への対応

葛飾区議会公明党

新小岩周辺地域の整備により安全・快適なまちづくりを

新小岩地域のまちづくり

問 西井堀せせらぎパークは、自転車駐車場と公園の全域にわたって改修していくべきと思うがどうか。

答 新小岩駅周辺のまちづくりの進捗に合わせ、早期に全面的な改修をしていきたいと考えており、自転車駐車場を含めて地域の意見や利用状況を把握しながら検討を進めていく。

問 ホームドア設置の流れを新小岩から区内全域に拡げていけるように鉄道事業者に働きかけていくべきと思うがどうか。

答 駅周辺地区のまちづくりの進捗を契機として、あらゆる機会を捉え、ホームドア設置や転落防止対策の徹底の検討を鉄道事業者に働きかけることにより、この流れを区内の他の駅にも拡げていけるよう努める。

※他の質問項目　将来需要を予測した公共施設の総合管理計画　など

新小岩北地域の複合施設整備

問 子育て支援拠点施設で展開するサービスについては、既存の施設の機能に加え、さらに充実した機能を展開していくべきと思うが、見解を伺う。

答 新しい施設では、現状では提供できていない現代的な課題に対応するサービスを展開するとともに、地域における交流も含めて、充実した事業展開となるよう検討を進めている。

問 整備計画のスケジュールありきではなく、内容の検討に十分な時間をかけ、さまざまな合意形成を図りながら進めるべきと思うがどうか。

答 利用者や地域の皆様の意見・要望を把握し、丁寧な説明を行いながら検討を進め、検討結果については、きめ細やかな情報提供に努め、広く区民に喜んでいただけるような施設として整備する。

※他の質問項目　放課後子ども総合プランにおける児童館との連携

放課後子ども総合プラン

問 夏季一時学童保育の試行実施などを踏まえ、「放課後子ども総合プラン」をどのように進めていくのか伺う。

答 学童保育クラブとわくわくチャレンジ広場の一体的・連携実施により、すべての児童が一緒にプログラムに参加できるよう小学校4校で取り組み を進めている。今後は、活動場所の共有化などを各校で推進する。

※他の質問項目　地域住民との協働

子育て支援策

問 待機児童を減らすために、既存の事業の活用や3歳児以降の枠を弾力的に運用するなど工夫するべきと思うがどうか。

答 平成29年4月に向け575名の定員拡大を予定している。新規開設園で未使用となる4、5歳児室の活用や、既存事業である一時保育室の一部を活用するなど、緊急的な預かりについても検討していく。

問 外国にルーツをもつ子どもの保護者は漢字などの読み書きが困難な方もおり、保育園の乳幼児の連絡ノートは見ただけでわかるような表現にしてみてはどうか。

答 乳幼児の連絡ノートの表現については、来年度、内容の見直しを予定しており、スタンプや体調を表すシンボルの活用などを検討していく。

問 育児支援ガイドブックについて、小・中学校までの内容も盛り込んで拡充してはどうか。

育児支援ガイドブック

答 現在の内容は、乳幼児期に焦点を当てて作成しているが、今後内容を見直す際は、子育て家庭に、より一層安心を届けられるよう、案内する情報について検討していく。

※他の質問項目　保育士等の住宅に関する補助の充実　など

がん教育・がん検診率の向上

問 未来を担う子どもたちへのがん教育を推進するための取り組みを伺う。

答 来年度、文部科学省が作成した「がん教育推進のための教材」を活用した授業実践を、先行してモデル的に進めて、健康教育を推進する。

問 区民向けのがん克服体験者の講演を開催してはどうか。

答 がん体験者の話を聞くことは、検診の重要性の認識を深める。今後がん体験者の講演会開催に向け検討する。

問 パパママ学級や乳幼児健診で、乳がん触診モデルを使用し、早期発見・受診の重要性を周知してはどうか。

答 一部の育児学級で乳がん触診モデルを展示し、予防啓発や自己触診法のチラシを配布しているが、今後は各種学級や健診時に乳がん触診モデルを展示し、実際に触れる機会をさらに増やすように努めていく。

※他の質問項目　無料クーポン対象者の拡大　など

日本共産党葛飾区議会議員団

障害者や子育てなど区民に寄り添う区政へ

障害者の問題

問 障害者の福祉サービスが、介護保険に移っても、必要なサービスが縮小されることのないよう、独自に上乗せを実施すべきと思うがどうか。

答 国が平成30年4月から施行することにしている利用者負担軽減制度の詳細が明らかでない状況の中で、本区独自の軽減の実施は考えていない。

※他の質問項目　心身障害者福祉手当の申請時年齢制限の撤廃　など

特別支援教室

問 情緒障害等通級指導学級での通級指導と在籍校での指導の両面を強化すべきと思うがどうか。

答 東京都が要綱改正を行い、情緒障害等通級指導学級としての位置づけや担任の配置は困難な状況である。

※他の質問項目　巡回指導教員の加配　など

保育問題

問 特別区の多くが区立保育所の増設に動いている。区内の社会福祉法人への支援強化と公立保育所の建設も行うべきと思うがどうか。

答 社会福祉法人の支援強化として、施設整備費補助について区独自の運営費加算により、実質補助基準額全額を補助している。公立保育所の建設は、これまで同様、社会福祉法人を含む民間事業者主体で整備を進める。

※他の質問項目　営利企業立の保育所への立ち入り検査、是正命令　など

学童保育クラブ

問 待機児童解消のために、新水元、中道、東堀切、青戸中央、梅田、東奥戸の6クラブの廃止を撤回すべきと思うがどうか。

答 学童保育クラブは小学校内への設置を中心に進めている。周辺の需要減少の著しい公立学童保育クラブは、子育て施設の整備方針に基づき、他の行政目的に施設転用を図っていくが、廃止を前提としたものではない。新水元は入会希望者が減少した場合に転用を検討し、その他の学童保育クラブは多くの入会希望者がいることから、現時点での転用は考えていない。

※他の質問項目　大規模化解消　など

社会教育とこれを担う児童館

問 児童館を子どもの貧困対策の地域拠点施設とし、中高生の居場所として対応するために、中高生対応型の児童館は増やし、利用時間の延長をすべきと思うがどうか。

答 子どもの貧困対策は、様々なサービス、団体との総合的な体系の中で検討すべき課題であり、現時点では中高生対応館の拡大や利用時間の延長は考えていない。

※他の質問項目　複合施設を建て替える間の児童館の事業継続　など

小菅児童館

葛飾区議会民進党議員団

立石の変遷の歴史を記録に 学校図書館の真の活用を

葛飾区のワーク・ライフ・バランス社会の実現と男性支援に向けて

問 今まで主に女性が担ってきた子育てや介護の分野に男性が参画するためには、区として男性支援についての考えを明確にすべきだと考えるが見解を伺う。

答 家庭生活への参画は、男性にとっても主体的な権利であると考える。ワーク・ライフ・バランスの推進や、家事・育児・介護等といった家庭生活参画に向けた様々な事業を展開するなど、男性への支援に努める。

※他の質問項目　男性介護者の支援　など

立石を中心とした歴史文化の継承

問 立石周辺の街の成り立ちの聞き取りや、建築物の記録化を進めてはどうか。また、立石駅舎の模型を作成し、後世に引き継ぐことも考えてはどうか。

答 古い地図や航空写真による開発変遷の分析や聞き取り調査などにより、記録化を進め保存に努める。建築物については、映像や図面などによる記録保存を行い、後世に引き継ぐ。

京成立石駅

※他の質問項目　区内の歴史文化の総合的な保存・発信　など

学校図書館の充実

問 学校図書館の充実と授業で使用するための研究を進める必要があると思うが見解を伺う。

答 メディアセンターとしての学校図書館の活用方法について、小・中学校1校ずつ、計2校のモデル校を指定して研究を進め、区内全校に研究成果を普及していく。

※他の質問項目　学校図書館とICTの活用支援　など

障害のある方の兄弟・姉妹への支援

問 相談窓口などの整備や、障害のある子供たちが集まる場などを利用し、居場所づくりなどの支援をすることも可能だと思うがどうか。

答 葛飾区障害者施策推進計画（案）策定委員会などにおいて、改めて区内障害者団体に意見や要望を伺い、必要な施策を検討する。

※他の質問項目　区民大学を活用した講座　など

無所属（※3）

徹底したコスト意識と子どもに配慮した学習支援を

土地開発公社

問 江戸川区は用地取得基金を活用し、毎年度、用地の先行取得をしている。本区も、基金を活用し利息が発生しない方法を取るべきと思うがどうか。

答 土地開発公社は必要な特定財源を計画的に確保している。また、市街地整備用地取得基金では、同規模の取得は困難な状況である。こうした課題を踏まえ、現在、土地の適切な取得方法について、検討を進めている。

※他の質問項目　公社の解散　など

学習支援事業

問 現在、モデル事業として12校で実施しているが、実施校の拡大や事業者の選定について、来年度に向けての考え方を伺う。

答 早期に全校で実施できるよう教育委員会や学校と精力的に協議を進めている。また、来年度、プロポーザル方式で事業者を選定する際は、指導力のある指導員を配置できる事業者を確保するため、必要な人材の安定的な確保を重要な要件とする。

※他の質問項目　教育委員会との連携・役割分担　など

立石中学校での学習支援の様子

特別職給与・議員報酬

問 都議会では小池都知事の給与を半減する条例案が全会一致で成立し、都議会議員の報酬を引き下げる動きが出ている状況で区長をはじめ特別職給与、議員報酬の引き上げは区民の理解を得られないと思うがどうか。

答 報酬等審議会に諮問し、総合的かつ慎重に審議され、引き上げの答申が出された。答申内容を十分に尊重し、報酬額等の条例案を提出した。

他の質問件名　公共施設付帯駐車場